

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年3月22日(2024.3.22)

【公開番号】特開2023-164956(P2023-164956A)

【公開日】令和5年11月14日(2023.11.14)

【年通号数】公開公報(特許)2023-214

【出願番号】特願2023-144347(P2023-144347)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 326 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月13日(2024.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像演出に必要な画像信号を生成するVDP (Video Display Processor)、及び、前記VDPの動作を規定する設定値が設定されるVDPレジスタを有するVDP回路と、CPU、前記CPUに制御されて動作するDMAC (Direct Memory Access Controller)回路、及び、前記DMAC回路を含んだ各種の内部回路の動作を規定する設定値が設定される動作制御レジスタを有するCPU回路と、を有し、前記CPU回路が前記VDP回路に発行するディスプレイリストと、前記CPU回路による前記VDPレジスタへの設定動作に基づいて所定の演出動作が実行される遊技機であつて、

30

前記CPU回路の外部に位置して前記CPUからアクセス可能なCPUメモリ空間には、前記CPUのリセット後、最初に実行すべき初期プログラムを格納するメモリデバイスと、前記VDPレジスタと、プログラム空間とが、少なくとも位置付けられており、前記メモリデバイスへのアクセス動作を適切化するべく、必要な設定値を前記動作制御レジスタに設定する設定手段と、

前記初期プログラムが、前記DMAC回路を適宜に動作させることで実現され、前記演出動作を実現可能な演出制御プログラムを前記プログラム空間にDMA転送する第1転送手段と、

前記第1転送手段によってDMA転送された前記演出制御プログラムが、前記DMAC回路を適宜に動作させることで実現され、前記演出動作に必要なデータをDMA転送する第2転送手段と、を有して構成されている遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

ところで、この種の遊技機では、迫力ある役物演出や画像演出を安定して実行できることが特に望まれる。

【手続補正3】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明は、上記の問題に鑑みてなされたものであって、画像演出を安定して実行できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

上記の課題を解決するべく本発明は、画像演出に必要な画像信号を生成するVDP(Video Display Processor)、及び、前記VDPの動作を規定する設定値が設定されるVDPレジスタを有するVDP回路と、CPU、前記CPUに制御されて動作するDMAC(Direct Memory Access Controller)回路、及び、前記DMAC回路を含んだ各種の内部回路の動作を規定する設定値が設定される動作制御レジスタを有するCPU回路と、を有し、前記CPU回路が前記VDP回路に発行するディスプレイリストと、前記CPU回路による前記VDPレジスタへの設定動作に基づいて所定の演出動作が実行される遊技機であって、前記CPU回路の外部に位置して前記CPUからアクセス可能なCPUメモリ空間には、前記CPUのリセット後、最初に実行すべき初期プログラムを格納するメモリデバイスと、前記VDPレジスタと、プログラム空間とが、少なくとも位置付けられており、前記メモリデバイスへのアクセス動作を適切化するべく、必要な設定値を前記動作制御レジスタに設定する設定手段と、前記初期プログラムが、前記DMAC回路を適宜に動作させることで実現され、前記演出動作を実現可能な演出制御プログラムを前記プログラム空間にDMA転送する第1転送手段と、前記第1転送手段によってDMA転送された前記演出制御プログラムが、前記DMAC回路を適宜に動作させることで実現され、前記演出動作に必要なデータをDMA転送する第2転送手段と、を有して構成されている。

## 【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

## 【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【0 0 1 8】

上記した本発明によれば、画像演出を安定して実行できる。

10

20

30

40

50